【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成29年12月28日(2017.12.28)

【公開番号】特開2016-97165(P2016-97165A)
【公開日】平成28年5月30日(2016.5.30)
【年通号数】公開・登録公報2016-033
【出願番号】特願2014-237677(P2014-237677)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　8/13　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　8/13

【手続補正書】
【提出日】平成29年11月17日(2017.11.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
光を発生させる光源と、
前記光を伝搬する光学系と、
前記光学系を伝搬した前記光を射出する射出部と、
前記光を照射された被検体から発生する音響波を受信して、電気信号を出力する受信部と、
前記電気信号を用いて、前記被検体の内部の情報を取得する処理部と、
を有し、
前記射出部は、空気中において、前記光照射位置から１４ｃｍ離れた位置における照射密度を、前記射出部の光照射位置における照射密度の０．５％以下に低減させる拡散機構を有する
ことを特徴とする被検体情報取得装置。
【請求項２】
前記拡散機構は、拡散板である
ことを特徴とする請求項１に記載の被検体情報取得装置。
【請求項３】
前記拡散板の拡散角度は６０度以上である
ことを特徴とする請求項２に記載の被検体情報取得装置。
【請求項４】
前記拡散機構は、凹レンズである
ことを特徴とする請求項１に記載の被検体情報取得装置。
【請求項５】
前記光は、波長７００ｎｍ以上９００ｎｍ以下のパルスレーザである
ことを特徴とする請求項１ないし４のいずれか１項に記載の被検体情報取得装置。
【請求項６】
前記光学系は、バンドルファイバを含む
ことを特徴とする請求項１ないし５のいずれか１項に記載の被検体情報取得装置。
【請求項７】
前記射出部の射出端から突出した遮蔽機構を有する

ことを特徴とする請求項１ないし６のいずれか１項に記載の被検体情報取得装置。
【請求項８】
前記射出部の射出端と前記被検体が接触状態にあるかどうかを検知する接触センサと、
前記接触センサが接触状態ではないと検知した場合、前記光の射出を停止する光制御機構と、
をさらに有することを特徴とする請求項１ないし７のいずれか１項に記載の被検体情報取得装置。
【請求項９】
被検体に照射する光を射出する射出部と、
前記光を照射された被検体から発生する音響波を受信する受信部と、
を有し、
前記射出部は、空気中において、前記光照射位置から１４ｃｍ離れた位置における照射密度を、前記射出部の光照射位置における照射密度の０．５％以下に低減させる拡散機構を有する
ことを特徴とするハンドヘルド型のプローブ。
【請求項１０】
前記拡散機構は、拡散板である
ことを特徴とする請求項９に記載のハンドヘルド型のプローブ。
【請求項１１】
前記拡散板の拡散角度は６０度以上である
ことを特徴とする請求項１０に記載のハンドヘルド型のプローブ。
【請求項１２】
前記拡散機構は、凹レンズである
ことを特徴とする請求項９に記載のハンドヘルド型のプローブ。
【請求項１３】
前記射出部は、少なくともバンドルファイバの先端を覆う部材を含む
ことを特徴とする請求項９ないし１２のいずれか１項に記載のハンドヘルド型のプローブ。